



# 建具表編

平面図で入力した建具を自動集計し、建具表と建具配置図を作成しましょう。

本マニュアルは、ARCHITREND ZERO 2015 で制作しています。  
お使いのプログラムと一部画面と操作が異なる場合があります。

1 建具を集計する	2
建具表を開く	2
初期設定を確認する	2
建具を集計する	3
集計データを編集する	3
2 建具表を作成する	4
建具表図面を開く	4
初期設定を確認・変更する	4
建具表を自動作成する	5
建具表の内容を編集する	6
ふすま／木製建具を両面姿図描画する	7
3 建具配置図を作成する	9
建具配置図を開く	9
初期設定を確認・変更する	9
建具配置図を自動作成する	10

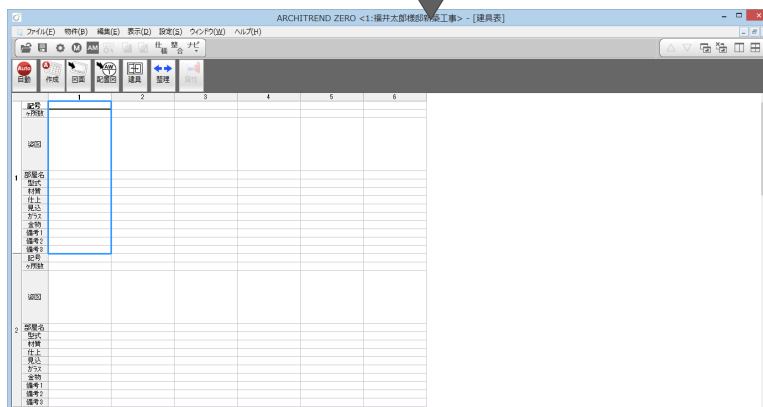
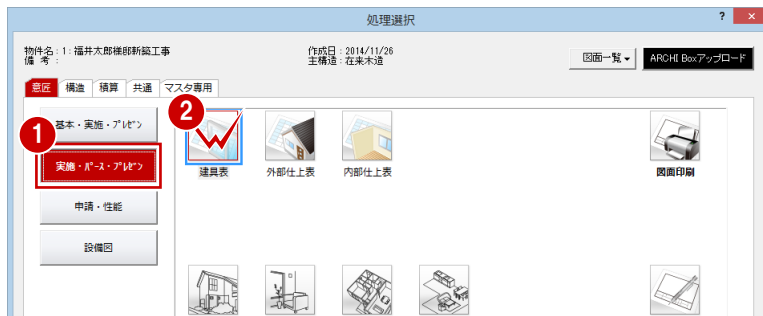
# 1 建具を集計する

建具表を開いて、建具を集計しましょう。ここでは、集計条件を設定し、その条件で建具を集計します。

## 建具表を開く

- 1 [処理選択] ダイアログの [実施・パース・プレゼン] をクリックします。
- 2 [プログラム一覧] より [建具表] をダブルクリックします。  
[建具表] のウィンドウが開きます。

※ 他のウィンドウを開いている場合は、下図のように[他の処理図面を開く]を使って、[処理選択] ダイアログを開きます。



## 初期設定を確認する

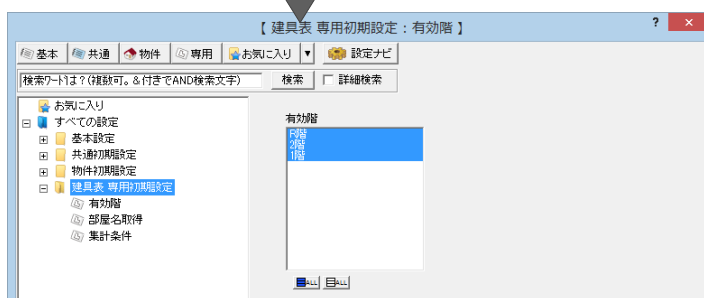
建具を集計するための条件を設定しましょう。

### - 建具表 初期設定を開く -

- 1 [設定] をクリックして、[設定] ダイアログを開きます。

#### [設定] ダイアログが表示されない場合は

[設定] をクリックして、[設定メニュー] ダイアログが表示された場合は、[すべての設定] をクリックして、[設定] ダイアログを開きます。  
また、[設定ナビ] ダイアログが表示された場合は、[すべての設定] をクリックして、[設定] ダイアログを開きます。

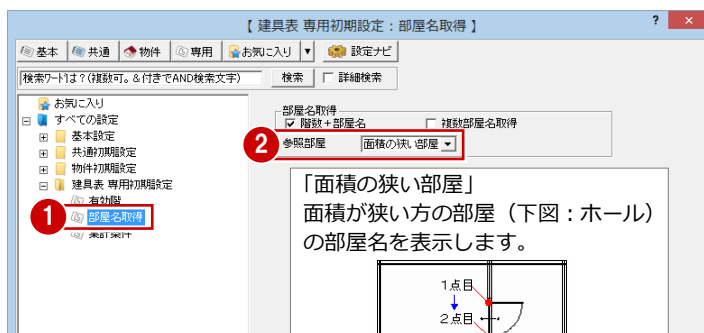


### - 建具表の部屋名取得を確認する -

- 1 ツリーから「部屋名取得」を選びます。
- 2 ここでは、[参照部屋] で「面積の狭い部屋」が選択されていることを確認します。

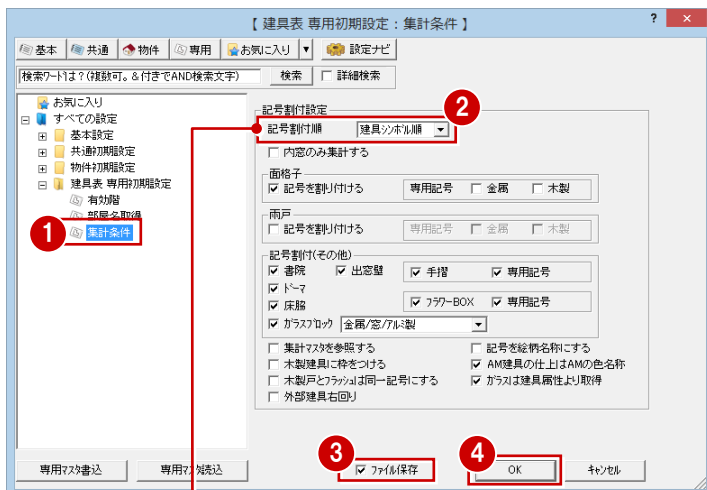
#### 「面積の狭い部屋」

面積が狭い方の部屋（下図：ホール）の部屋名を表示します。



－ 建具表の記号割付設定を確認する －

- 1 ツリーから「集計条件」を選びます。
- 2 集計条件を確認します。
- 3 [ファイル保存] のチェックが付いていることを確認します。
- 4 [OK] をクリックします。

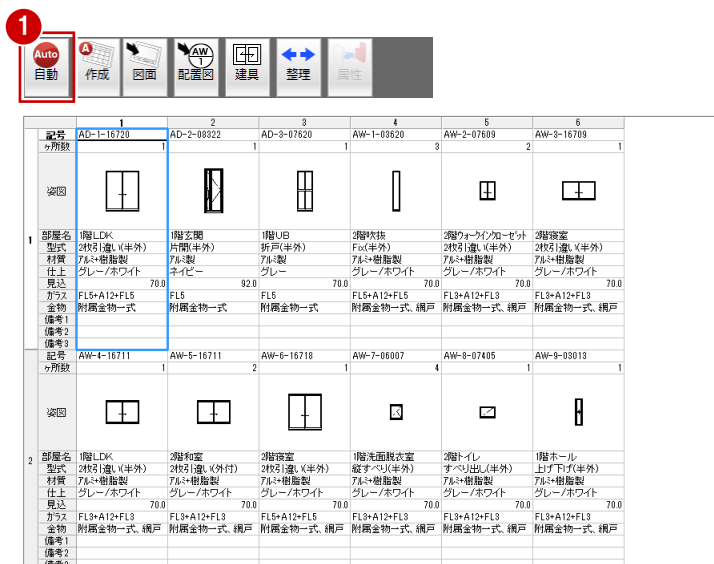


「建具シンボル順」のときの順番は、建具形状マスタの[建具形状選択]ダイアログで選択する[建具種別]に表示される一覧の並び順です。  
例：金属戸アルミ製、金属戸スチール製の順に割り付けます（プログラム固定）。

建具を集計する

設定した条件で、建具を自動集計しましょう。

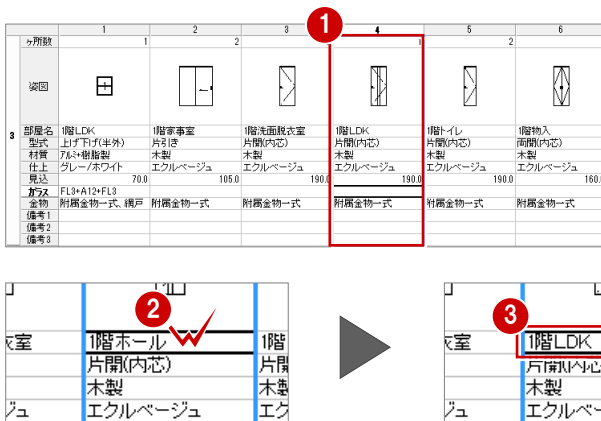
- 1 [自動] をクリックします。  
集計結果が一覧表示されます。



集計データを編集する

集計したデータの文字列を編集してみましょう。

- 1 対象となる欄（ここでは、1階ホールの片開）をクリックします。
- 2 対象となるセル（ここでは [部屋名]）をダブルクリックします。
- 3 直接、文字列（ここでは「1階 LDK」）を入力します。

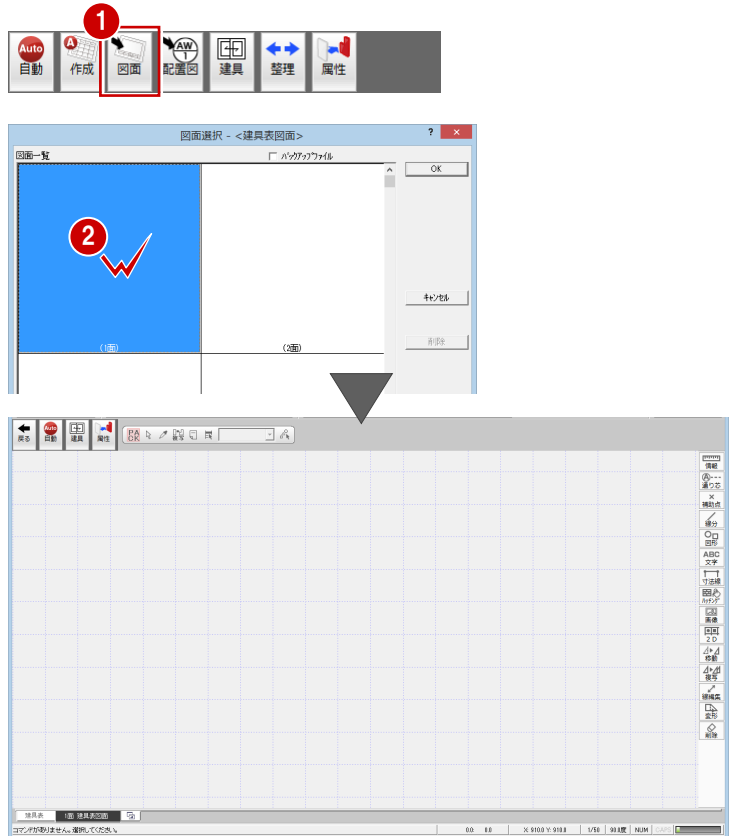


## 2 建具表を作成する

建具集計データより、建具表を作成しましょう。建具表は [建具表図面] ウィンドウで作成します。

### 建具表図面を開く

- ① [図面] をクリックします。
- ② [図面選択] ダイアログで「1 面」をダブルクリックします。  
[1 面 建具表図面] のウィンドウが開きます。

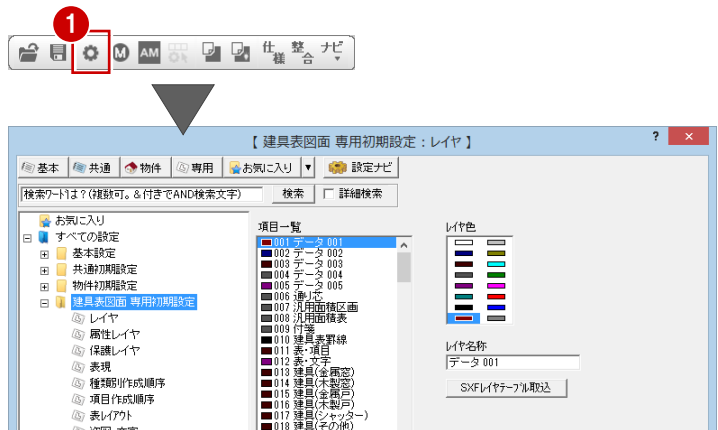


### 初期設定を確認・変更する

建具表を作成するための条件（初期設定）を確認・変更しましょう。

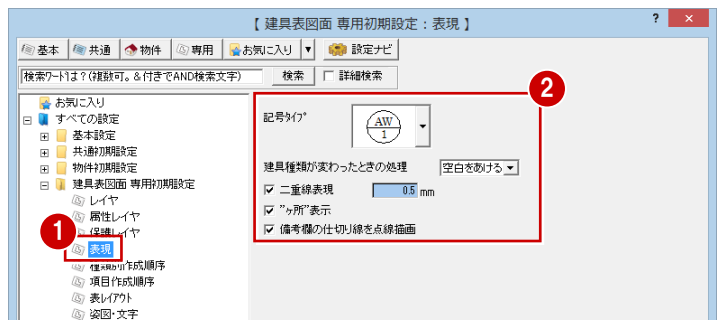
#### － 建具表図面 初期設定を開く －

- ① [設定] をクリックして、[設定] ダイアログを開きます。



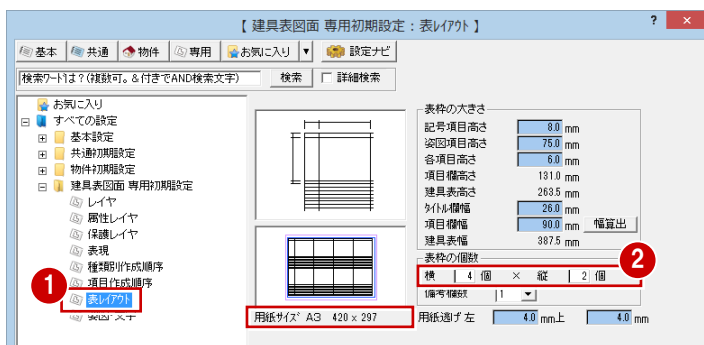
#### － 建具表の表現を確認する －

- ① ツリーから「表現」を選びます。
- ② 記号タイプや、表の表現に関する設定を確認します。



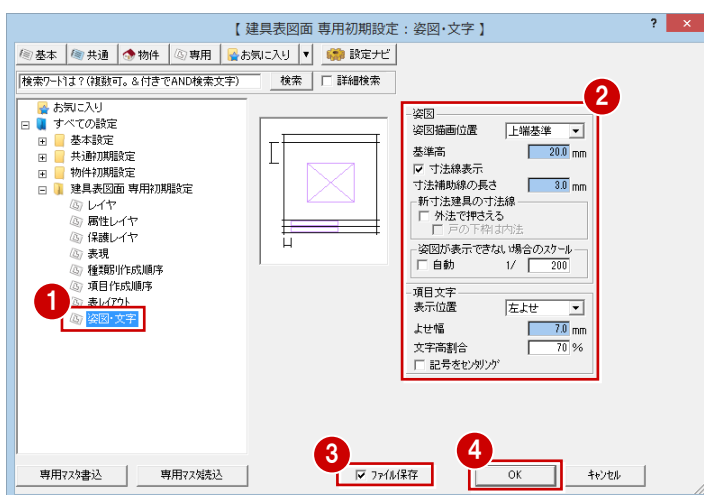
－ 表のレイアウトを確認・変更する －

- 1 ツリーから「表レイアウト」を選びます。
- 2 設定されている用紙サイズ（ここでは、A3）を確認し、[表枠の個数]の[横]を「4」、[縦]を「2」に変更します。



－ 項目のレイアウトを確認する －

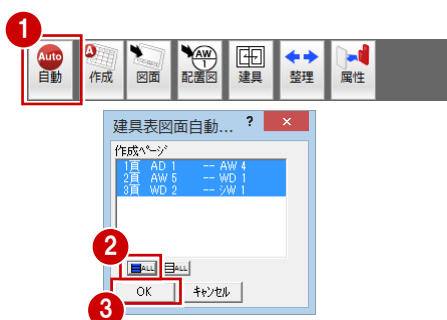
- 1 ツリーから「姿図・文字」を選びます。
- 2 建具の姿図や項目文字についての設定を確認します。
- 3 [ファイル保存]のチェックが付いていることを確認します。
- 4 [OK]をクリックします。



建具表を自動作成する

設定した条件で、建具表を自動作成しましょう。

- 1 [自動]をクリックします。
- 2 [建具表図面自動作成]ダイアログの[全選択]をクリックして、[作成ページ]で「1頁」から「3頁」までを選択状態にします。
- 3 [OK]をクリックします。  
建具表が作成されます。



※ 各面のタブをクリックして、1面から3面までの建具表を確認してみましょう。



## 建具表の内容を編集する

基本的に [建具表図面] における建具表の編集は、[建具表] ウィンドウで行います。編集した内容を建具表に反映させるときは、[建具表図面] ウィンドウで [図面自動立上] または [属性変更] を行います。

### － 建具表 項目を編集する －

- 1 [建具表] タブをクリックして、[建具表] ウィンドウに切り替えます。  
建具表の編集については、前述「1 建具を集計する」⇒「集計データの編集」を参照してください。



### － 建具表図面 建具表を更新する －

- 1 [1面 建具表図面] タブをクリックして、[建具表図面] ウィンドウに切り替えます。



#### ⇒ 編集した項目が1つの場合

- 2 [属性変更] をクリックします。
- 3 [建具表] で編集した建具の欄をクリックします。
- 4 内容更新の確認画面で [はい] をクリックすると、建具表が更新されます。



#### ⇒ 編集した項目が複数の場合

- 2 [自動] をクリックします。
- 3 [建具表図面自動作成] ダイアログの [作成ページ] で対象となるページを選択状態にします。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 既存データ削除の確認画面で [はい] をクリックします。



※ この場合、加算修正した内容は削除されてしまいます。  
再度編集をお願いします。

### ふすま/木製建具の両面姿図を描画する

建具の一方がふすま、もう一方が木製からなる建具の場合、建具表には一方の姿図しか描画されません（材質がふすまの場合、ふすまの姿図が描画されています）。ここでは、そのような建具の両面の姿図を建具表に描画する操作を解説します。

まず、[3面 建具表図面] ウィンドウの、対象となる建具の右横の欄が空いていることを確認し、ふすまの裏面である木製建具の姿図を入力します。

#### － 木製建具の姿図を入力する －

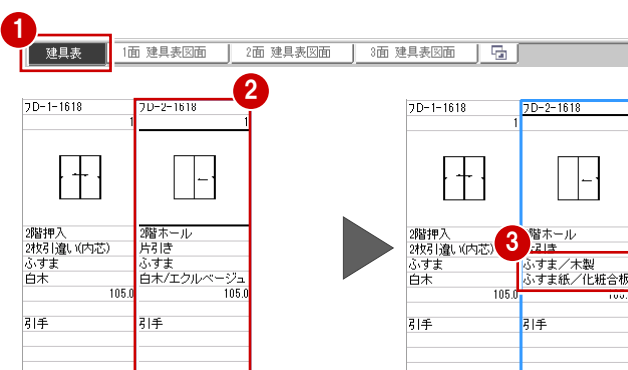
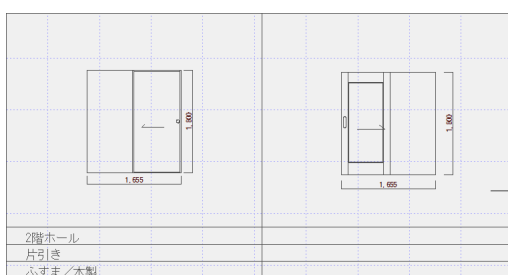
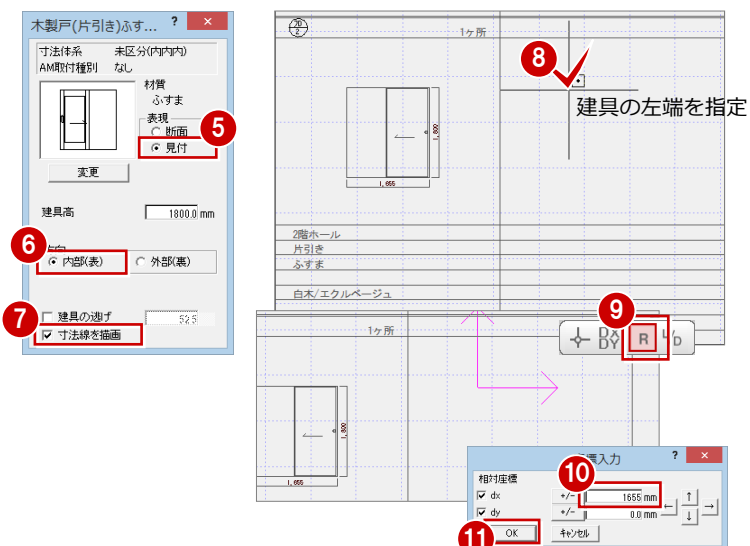
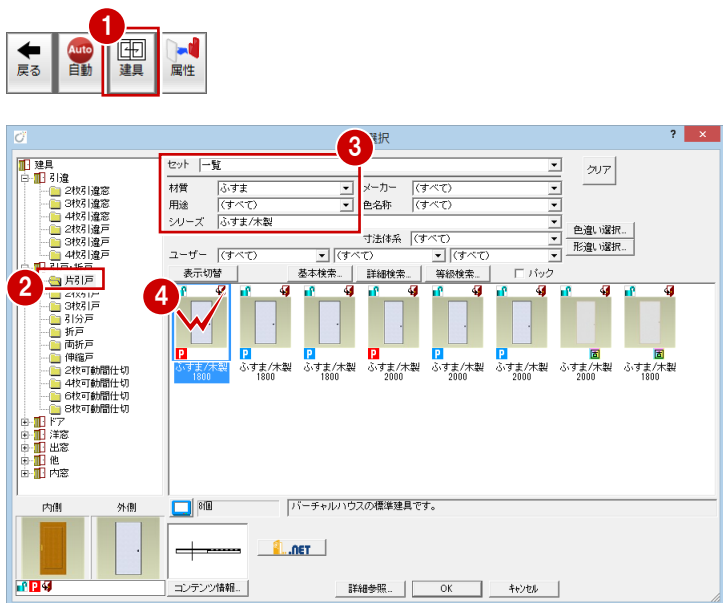
- 1 [建具] をクリックします。
- 2 ツリーから [片引戸] を選びます。
- 3 [建具選択] ダイアログで、[セット] を「一覧」、[材質] を「ふすま」、[シリーズ] を「ふすま/木製」に変更します。
- 4 一覧から、建具（ふすま/木製 1800）をダブルクリックして選択します。
- 5 [木製戸（片引き）] ダイアログで [見付] にチェックが入っていることを確認します。
- 6 [内部（表）] にチェックを入れます。
- 7 [寸法線を描画] のチェックを付けます。
- 8 建具の姿図を配置したい位置の左端をクリックします。

入力する木製建具の幅をふすまに合わせるため、相対座標を指定して建具の右端の位置を決定します。

- 9 [相対座標入力] をクリックしてオンの状態にします。
- 10 [相対座標入力] ダイアログで [dx] に「1655」と入力します。
- 11 [OK] をクリックします。  
建具の姿図が入力されます。

#### － ふすまの項目を編集する －

- 1 [建具表] タブをクリックして、[建具表] ウィンドウに切り替えます。
- 2 1階和室の片引きの欄をクリックします。
- 3 [材質] のセルの内容を「ふすま/木製」に、[仕上] のセルの内容を「ふすま紙/化粧合板」に変更します。



－ 建具表の内容を更新する －

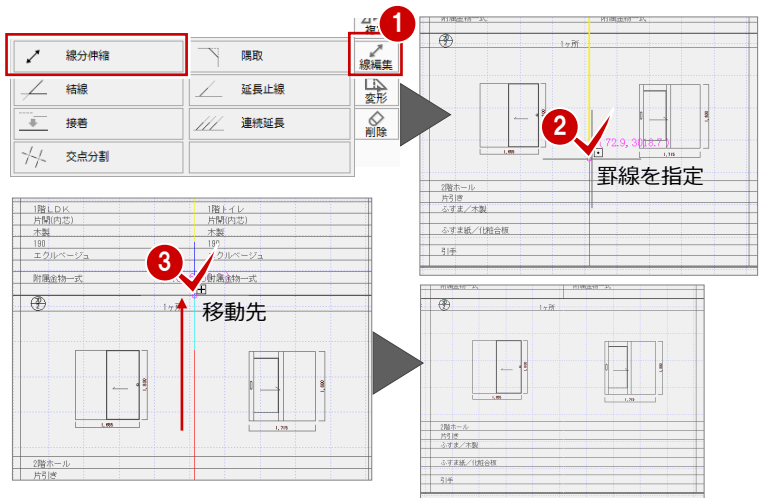
- ① [3面 建具表図面] タブをクリックして、[建具表図面] ウィンドウに切り替えます。
- ② [属性変更] をクリックします。
- ③ 内容を編集した建具（ふすま）をクリックします。
- ④ 内容更新の確認画面で [はい] をクリックすると、建具表が更新されます。



－ 表の罫線を伸縮する －

ふすまと木製建具の間の罫線をなくし、1つの建具欄に変更しましょう。

- ① [線編集] メニューから [線分伸縮] を選びます。
- ② ふすまと木製建具の間の罫線を選択します。
- ③ 先端の移動先をクリックします。



－ 建具欄を仕上げる －

建具に対する両側の部屋がわかるように、建具姿図の下部に部屋名を追加したり、他の項目欄に合わせて「2ヶ所」表記の位置を変更したりして、建具欄を仕上げましょう。

- ① [文字] メニューの [文字] で、姿図の下部に【和室側】【廊下側】の文字列を入力して、建具の両側の部屋名を表記しておきましょう。
- ② 他の建具欄に合わせて、ポップアップメニューの [移動] で「1ヶ所」の表記を項目枠の右側に移動しておきましょう（なお、建具表の建具欄内のデータは姿図と項目文字でパック化されています。[対象データ選択]をクリック後、[パック化選択切替] をOFFの状態にしてから移動しましょう）。
- ③ 建具表の編集が終わったら、データを保存し、[戻る] をクリックして [建具表] ウィンドウに戻りましょう。





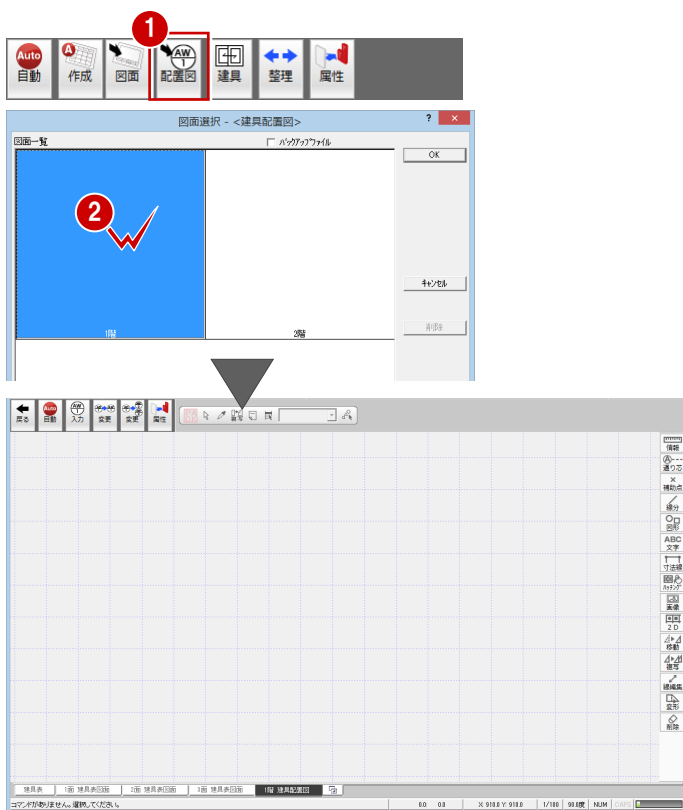
# 3 建具配置図を作成する

建具集計データより、建具配置図を作成しましょう。建具配置図は [建具配置図] ウィンドウで作成します。

## 建具配置図を開く

建具配置図を開いて、建具配置図を作成していきましょう。

- ① [建具配置図を開く] をクリックします。
- ② [図面選択] ダイアログで「1面」をダブルクリックします。  
[1面 建具配置図]のウィンドウが開きます。



## 初期設定を確認・変更する

建具配置図の作成条件を設定しましょう。

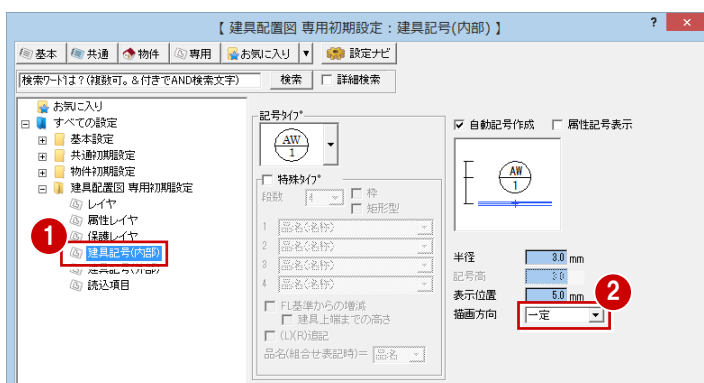
### - 建具配置図 初期設定を開く -

- ① [設定] をクリックして、[設定] ダイアログを開きます。



### - 建具記号(内部)の描画条件を変更する -

- ① ツリーから「建具記号 (内部)」を選びます。
- ② [描画方向] を「一定」に変更し、内部建具の建具記号が一定方向を向いて描画されるようにします。



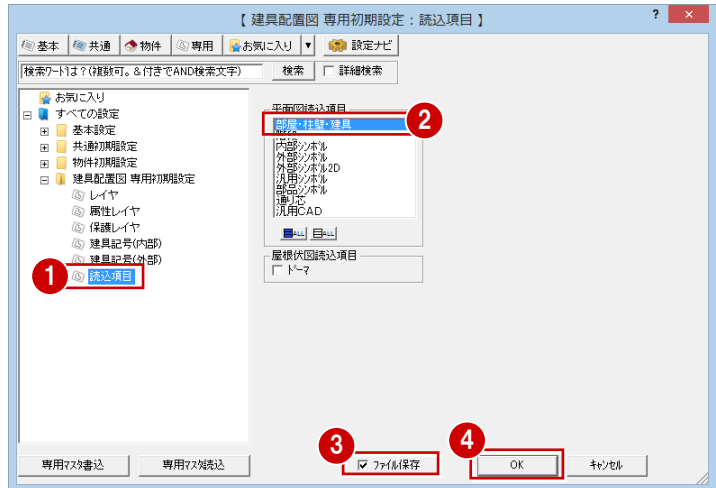
－ 建具記号(外部)の描画条件を変更する －

- ① ツリーから「建具記号 (外部)」を選びます。
- ② [内部記号取得] をクリックして、「建具記号 (内部)」の設定内容と同じにします ([描画方向] が「一定」に変更されます)。



－ 平面図から読み込む項目を確認する －

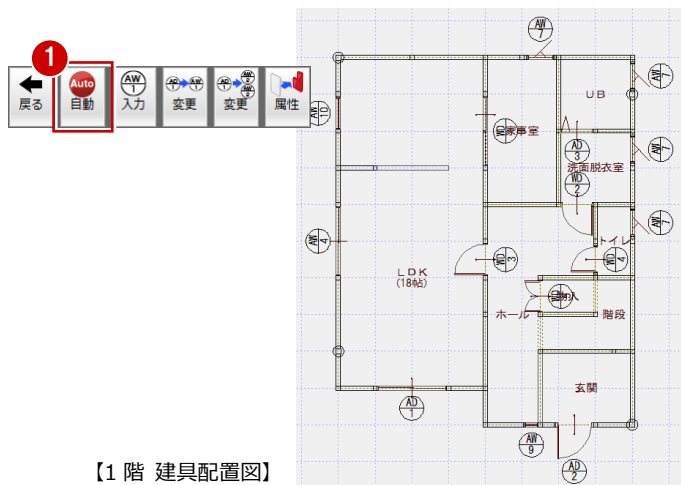
- ① ツリーから「読み込み項目」を選びます。
- ② [平面図読み込み項目] で「部屋・柱壁・建具」のみが選択されていることを確認します。
- ③ [ファイル保存] のチェックが付いていることを確認します。
- ④ [OK] をクリックします。



**建具配置図を自動作成する**

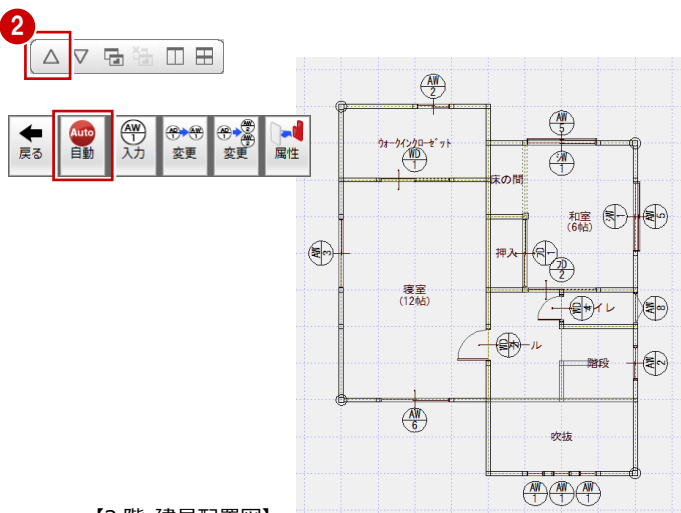
設定した条件で、建具配置図を自動作成しましょう。

- ① [自動] をクリックします。  
1階の建具配置図が作成されます。



【1階 建具配置図】

- ② [上階を開く] をクリックして [2階 建具配置図] を開き、1階と同様にして建具配置図を作成しましょう。



【2階 建具配置図】

※ 建具記号の重なりや文字との重なりを [移動] コマンドなどで編集をしておきましょう。